

令和6年度第1回地区推進会議

日時：令和6年10月29日（火）
午後3時30分～午後5時00分（予定）
場所：市川市役所第1庁舎5階 第1委員会室

会 議 次 第

1 開会

2 議題

- (1)令和5年度の振り返りシート及び各地域ケア拠点の傾向などについて
- (2)CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の役割について
- (3)その他

3 閉会

《配布資料》

- 資料1-1 第4期わかちあいプラン振り返りシート（令和5年度）
- 資料1-2 各地区統計データ
- 資料1-3 福祉委員アンケート結果

1 地域福祉の推進体制

地域福祉の推進にあたっては、小域福祉圏（14 地区）の核となる「地域ケアシステム推進連絡会」で取り上げられた各地区の地域課題について、本市が主催する「地区推進会議」で情報共有し、互助・共助の役割では対応が困難な課題については、行政の施策（公助）として実施することについて、検討を行います。

地域ケアシステム推進連絡会（小域福祉圏 14 地区）：年数回

地域の問題を地域で共有し解決に向けた検討を行う場

地区社会福祉協議会が主催する会議体で、地域の情報、地域の課題などについて地域住民と関係機関が共有し、解決方法を導く場であり、多くの関係機関が集まる地域のプラットフォームの場です。

【構成メンバーの例】

自治（町）会関係者、民生委員・児童委員、高齢者クラブ関係者、子ども会関係者、ボランティア・NPO 団体関係者、障がい者団体関係者、学校関係者、地域ケア拠点相談員、高齢者サポートセンター職員、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、市川市社会福祉協議会職員、市職員 等

提案・
提言など

報告

地区推進会議：年 2 回程度

各地域課題の検討の場

本市が主催する会議体で、地区社会福祉協議会、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、市川市社会福祉協議会、行政の役割分担を踏まえ、振り返りシートをもとに、小域福祉圏（14 地区）ごとの地域課題に関する進行管理、検証を行います。

【構成メンバー】

地区社会福祉協議会代表者、市川市ボランティア協会代表者、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、市川市社会福祉協議会職員、市職員

提言

市川市

報告

福祉部 地域共生課

関係各課と地域課題の情報共有を図り、地域課題に対応する施策の検討を行う

諮問・
報告

答申・
意見

市川市社会福祉審議会：年数回

本市における地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉その他の社会福祉に関する事項について調査審議するための諮問機関

【構成メンバー】

学識経験者、関係団体の推薦を受けた社会福祉事業・社会福祉活動を行う者、関係行政機関の職員、公募による市民 等

地区推進会議委員名簿

NO	地区名	氏名
1	国府台地区	岸田 浩一
2		須賀 正司
3	国分地区	服部 英信
4		橋本 秀夫
5	曾谷地区	日光 三代治
6		高浜 礼子
7	大柏地区	淡路 洋
8		吉野 昌子
9	宮久保・下貝塚地区	有坂 利男
10		後藤 久子
11	市川第一地区	永井 博
12		山本 次郎
13	市川第二地区	滝沢 晶次
14		安倍 亨
15	真間地区	小林 俊之
16		千葉 裕枝
17	菅野・須和田地区	吉野 一郎
18		松本 利美
19	八幡地区	鈴木 加代子
20		佐藤 眞知子
21	市川東部地区	橋本 弘子
22		坪井 幸恵
23	信篤・二俣地区	加藤 英一
24		那須 宏行
25	行徳地区	畑中 博明
26		森川 岩雄
27	南行徳地区	松倉 勉
28		山本 稔
29	市川市ボランティア協会	山崎 文代
30		鹿島 吉夫

令和6年10月29日

第1回地区推進会議 資料1-1

第4期わかちあいプラン 振り返りシート (令和5年度)

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

市川第一地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【てるぼサロンの運営・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・てるぼサロンは新規サロンこそないものの、地域ケア相談員による拠点を活用した「木曜体操」を実施し、事業拡充に努めた。 ・コロナ禍で一旦休止したサロンも徐々にロコミなどで参加者が増え活性化してきている。 ・赤ちゃんサロンは新規に2組参加があり、今後に向けて希望が見えてきた。 <p>【地区社協事業の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業担当理事を置き、福祉委員の方々に役割をもって参画していただくことにより、今迄継続開催してきた事業について、参加者、会場など見えてきた課題、開催方法等を事業見直ししていく必要がある。(ふれあい会食会、男性料理教室、親子ふれあいバス研修など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協事業の運営準備 ・サロンの運営についての助言、支援を行った ・関係機関への連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域ケア拠点の強化：地区社協事務局としての機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の多くの方に活動を知っていただき、拠点の来所などを考えPR方法として地区社協の広報紙発行を検討しPR強化していく。 <p>【地域ケアシステム推進会議の開催：定期開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステム推進連絡会、福祉委員会は定期開催してきおり、関係機関も参加し、情報共有が出来てきている。 ・地域課題の検討など、積極的な意見交換ができるような会議を目指す。 <p>【相談員会議の開催：定期開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員会議を定期開催し、情報共有に努めている。 ・地域ケア相談員の役割と拠点PRを兼ね「木曜体操」を実施。好評である。 <p>【地域の福祉課題把握と対応の検討：ケア会議への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議については、担当エリア民生委員さんなどに参加していたり、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)も参加している。事前に、地域の状況等、福祉委員の協力を得て確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の实情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア拠点の運営に関する相談・助言 ・地域ケアシステム推進連絡会の開催準備・支援・参加 ・関係機関との連絡調整 ・相談員会議に参加、情報の共有、助言 ・地域ケア会議への参加 ・圏域会議への参加 ・個別の相談ケースから地域へ繋いだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<p>【お互いさま事業の具体化が図れる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いさま事業実施に向け、先進地視察などを行ってきたが、事業実施までには至っていない。 ・事業実施に向け、お互いさま事業がどのようなものか、地域で何が何でもできるか、など丁寧に説明し理解を深め、実施に向けて検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地区の情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。

<p>地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待</p>	<p>市川市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修会の開催、内容充実 ○近隣地区との合同事業が実施しやすいような環境整備 ○市社協会費のPR方法の工夫
-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待</p>	<p>行政(市川市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体事業を支えるインフラ整備(拠点の確保や看板等) ○市民生活の課題を解決するためのネットワークづくりに尽力して欲しい ○情報の発信や周知に工夫を凝らし、的確な内容とする ○市内の地域各種団体の地区割りの統一化
-------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

市川第二地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
テーマ1 てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	【てるぼサロン】 ・7ヶ所のサロンを開催した。 【地区社協事業】 ・総会、三役会、役員会、監査会、サロン部会、広報部会、事業企画部会の会議を計17回開催した。 ・広報を8月、1月に発行した。(各自治町会へ回覧) ・ふれあい七社めぐりを1月、6月に開催した。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・地区社協事業の運営準備 ・サロンの運営についての助言、支援を行った ・新規サロン立ち上げの支援を行った ・関係機関への連絡調整	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事ようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ2 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	【地域ケア拠点機能の強化】 ・開所した。 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・6回開催した。 【相談員会議】 ・6回開催した。	・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・地域ケア拠点の運営に関する相談・助言 ・地域ケアシステム推進連絡会の開催準備・支援・参加 ・関係機関との連絡調整 ・相談員会議に参加、情報の共有、助言 ・地域ケア会議への参加 ・圏域会議への参加 ・個別の相談ケースから地域へ繋いだ	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
テーマ3 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・アンケートを実施し、地域ニーズの把握をした。	・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・アンケートを実施し、地域ニーズの把握をした。 ・他地区の情報提供を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事ようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。

地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待	市川市社会福祉協議会 ○丁寧な説明と納得したうえでの事業の実施 ○地区が広く自治(町)会ごとにサポートして欲しい
------------------------------	----------------------------------------------------------------

地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待	行政(市川市) ○情報提供を適宜して欲しい ○住民説明を詳しくして欲しい ○場の確保(入りやすい1階空き店舗等) ○福祉サービスを利用していない孤立しがちな高齢者の支援を具体的に検討して欲しい
------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

国府台地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区担当CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を十分にとったうえで、4ヶ所のサロンが5月から再開し、12月から「ほっとサロン国府台」が加わった。 ・市社協が主催するてるぼサロンまつりに参加した <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ大会を開催した ・国府台小学校で行われた「このとり祭り」に参加し、地区社協をPRした ・ふれあいフェスティバルに参加した 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協事業の運営準備 ・サロンの運営についての助言、支援を行った ・新規サロン立ち上げの支援を行った ・関係機関への連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域ケア拠点機能の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から通常時間で開所している。 <p>【地域ケアシステム推進連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年2月に地域ケアシステム推進連絡会を開催した <p>【相談員会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止に考慮し6回開催 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会は書面で開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア拠点の運営に関する相談・助言 ・地域ケアシステム推進連絡会の開催準備・支援・参加 ・関係機関との連絡調整 ・相談員会議に参加、情報の共有、助言。 <p>地域における福祉課題を共有した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議への参加 ・園域会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で具体的な進展はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会でお互いさま事業の必要性について検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待</p>	<p>市川市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「てるぼサロン」や「地域ケアシステム」について、わからない人も多いので、わかるような広報や宣伝を心掛け、認知度をあげてほしい ○地区別計画の進捗状況や検証を確認するなかで、さらなる活動に繋がられるような支援がほしい 			
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待</p>	<p>行政(市川市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市のバスを借りやすくしてほしい。 ○若い人たちがもっと地域活動に参加していけるよう、施設や連携が必要である。 			

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CWの取り組み)	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般サロン3ヶ所、子育てサロン1ヶ所を設置している。 ・現役の若手プロキックボクサーを講師としたボディケアクラブ(旧いきいき健康体操)が新たに立ち上がり、活発に活動している。 <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操の開催。今年で7年目となり、夏休みの初日より大人から子どもまで多くの参加者があり、8日間で延べ2,000人を超える参加があった。若い世代の交流や学校との連携を図ることができた。 ・七夕まつりの開催。真間小学校にて、子どもたちそれぞれが短冊に願いを込めて、七夕飾りをした。 ・ふれあい演芸会の開催。昨年度はコロナ対策として、午前・午後の2回に分けて実施したが、今年度はコロナ前のように、参加された高齢者とともに落語・マジックを楽しみ、また、知的障がい者の親の会による参加型の劇も行い、障害への理解を深めることができた ・よってこギャラリー展を開催した。真間小、須和田の丘支援学校や地域の方の作品を月替わりで展示し好評だった。 ・8月には「よってこだより16号」を発行し周辺自治会にも周知した。 ・ホームページでサロン等の情報を更新して情報発信している。 ・相談員会議を毎月開催し、相談員同士の連携を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協事業の運営準備 ・サロンの運営についての助言、支援を行った ・新規サロン立ち上げの支援を行った ・関係機関への連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域の担い手の確保・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代へ「ケア」をつなぐために、若手の相談員を数年にかけて7名獲得し、その育成に努力している。 ・相談員同士の情報共有を強化することで、地域ケア拠点に寄せられる個別ケース(子ども、高齢、障がい等)の支援について検討している。特に困難ケースについては、社協CSW・地域共生課 ・障がい者支援団体等の専門機関との連携を取り、対応を模索することに至っている。 ・地域ケア推進連絡会を2回開催した。自治会や他団体と連携・協働することで、地域課題の発掘や、実情把握に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア拠点の運営に関する相談・助言 ・地域ケアシステム推進連絡会の開催準備・支援・参加 ・関係機関との連絡調整 ・相談員会議に参加、情報の共有、助言 ・地域ケア会議への参加 ・圏域会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<p>【お互いさま事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、モデル実施の最終年となるが、今後、真間地区として本格実施をするのは困難と判断し撤退することとなる。地域の特異性や住人の性格上、人の手を借りることを拒む人が多いことや、狭いエリアなので隣近所がや顔見知りにはお願ひしにくいなどの意見があった。今後は、地域の様々な有料無料を含めた情報をご紹介するにとどめる予定。Ex.ボランティアセンター・千葉商科大学学生のよろず隊・民間の介護グループ・まごころサポート他 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いさま事業に関する相談・助言を行った ・他地区の情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ4</p>	<p>防災協議会が発足し、地区社協として長年継続的に参加して来ている。引き続き関係を持っていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター立上げ・運営訓練を行った。 		

地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待

市川市社会福祉協議会

○市内の他地区社会福祉協議会との交流や親睦を図り、活動の幅を広げてほしいが話し合いの機会がなかった。情報のみでなく、それぞれの課題を話し合う機会を作ってほしい。○情報の共有化もほとんどできなかった。CWからもっと他地区の情報をまとめて提示してほしい。

○担当職員にZOOM等の技術支援をしていただいたが、今後もこうした技術的な情報と支援してほしい。

地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待

行政(市川市)

○地域ケアシステムの継続、よってこの予算の長期継続を希望 ○人材確保や育成に予算をつけてほしい。

○地域の現状を正しく理解してもらいたい、そのために現場に足を運んでほしい。○真間稲荷神社集会所の使用料の補助をしてほしい。

○平成30年施行の避難行動要支援者名簿制度の見直しに伴い、いち早く名簿を明確にしてほしい

○コロナの制限はいつまでかかるのか? ○支えあいアプリを作るだけでは意味がない。高齢者にも情報が浸透できる方法を共に考えてほしい。行政(市長)だけの発想だけで進めないでよく現場の声を聴いてほしい。

○清掃事業課の戸別収集事業の対象を要支援にも広げてほしい。➡地区推進会議のテーマとすべき。

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

八幡地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、地区社協主催3ヶ所。他団体主催が4ヶ所。(うち、一般サロン4ヶ所、子育てサロンが3ヶ所) ・地区内のてるぼサロン開催情報を3ヶ月おきに自治町会の掲示板にて案内。掲示板スペースに限りがあるため、全7ヶ所の情報が掲載されており、字が小さい課題はある。 ・コロナの感染防止を理由として、てるぼサロンの参加人数制限も撤廃され、徐々に参加者数が戻りつつある。 <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内にあるスポーツクラブの協力のもと健康講座を開催した。 ・地域ケア拠点を活用した「包丁研ぎ教室」を今年度も開催。好評のため、継続実施していくための環境を整えたい。 ・広報紙を発行。相談員募集の記事や、高齢者クラブ紹介の記事等に、反響がある。 ・地区別計画策定にあたるアンケートを実施。健康体操への希望が多数あることから、次年度からの実施に向けて取り組みたい。また、子育て世代への支援等について、地区社協としてできることを考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やしていけるよう、チラシ等を活用し地域や関係機関への周知に努めた。 ・開催内容について、主催者と検討しながら、運営サポートを行った。 <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の企業と連携し、講座を開催。今後も協働していけるよう、関係の構築に努めた。 ・地区別計画策定のアンケート結果を受け、健康体操の開催に向けて、講師や開催場所の確保に努めた。 ・他地区・他市の地区社協の取り組みで、参考になる事例を調査し、八幡地区社協での実施の可能性を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域ケア推進連絡会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡地区の暮らしに関する情報共有・意見交換を行う地域ケア推進連絡会を年6回開催する。 <p>【福祉課題の共有・意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進連絡会の会議形式を、(コロナの感染防止を理由に)講義形式だったのを、口の字形式に戻す。顔の見える体制で意見交換を行うスタイルとし、参加者が何かしらの発言ができるよう進行を工夫した。 ・地域ケア推進連絡会において、「虐待」「8050問題」「ヤングケアラー」などのテーマを設け、福祉課題の意見交換等への契機とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアアシスト推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。 	<p>【地域ケア推進連絡会の開催】</p> <p>【地域課題の共有・意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員からの提案を受け、参加者全員が発言をし、地域の状況を意見交換できるような場づくりを行った。 ・福祉課題について勉強会を行うことで、活発な意見交換ができるよう努めた。今後もテーマを決め、福祉課題について共有できる機会を設けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<p>【民間事業所の活用・連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進連絡会に民間事業所に参加いただき、現況を報告いただく。高齢者サポートセンターや社協からも、個人相談ケースの概要などを報告し、事業の必要性を共有する。 ・地区別計画のアンケートでは、事業実施について前向きな意見が多数を占める。次年度以降、ニーズを整理し、地区社協としてできることが何があるのかを協議・意見交換を進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<p>【お互いさま事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サポートセンターや民間事業所と情報共有・連携を行い、地区内での必要性について、個別ケース等を報告。今後も事業についての説明を丁寧に行い、協議を重ねていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの 市社協への意見・要望・期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他地区、他市などの取り組みを調査・把握し、紹介してほしい。 ・イチコ等の活動との連携は可能? 			
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの 行政への意見・要望・期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報に載せている事業等が、実質その働きができていないものもある。情報を得て窓口に行った人がたらい回しにならないよう、対策をしてほしい。 ・施策を進める際、地域住民や当該者の声を聞き、現状を把握してから進めてほしい 			

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

菅野須和田地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区担当CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
テーマ1 てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ~“ふれあい”や “つながり”を育むために~	【てるぼサロン】 ・9月から「菅野西自治会館サロン」と「不動院サロン」が再開。現在、地区社協主催のサロンが3箇所、他団体主催が6箇所開催。 【地区社協事業】 ・菅野公民館グラウンドにおいて、「東菅野・菅野・須和田オリンピック」を開催。高齢の方から子育て世代が参加し、様々な競技に取り組んだ。 ・感染防止に考慮し、3年ぶりに「ふれあい快食会」を開催。東菅野、菅野、須和田の3つの地域に分かれ、演芸を楽しみながら会食を行った。 ・新規事業として「ふれあい発表会」を開催。菅野公民館内で活動している6つの芸術文化サークルによる発表会を実施し、90名の観客が集まった。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・地区社協事業の運営準備 ・サロンの運営についての助言、支援を行った ・新規サロン立ち上げの支援を行った(サロン実施には至らなかった) ・関係機関への連絡調整	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事ようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ2 地域連携の強化 ~地域における 福祉課題の把握と対応~	【地域ケア拠点機能の強化】 ・新しい相談員が1人増加。毎週火曜日～金曜日の10時～16時に開催。 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・各自治会長や民生委員等から地域の状況や課題、取り組みや行事について情報共有の場を4回開催した。 【福祉委員会】 ・てるぼサロンの活動状況報告や三重大行事の検討の機会として4回開催した。 【相談員会議】 ・相談員の業務内容の見直しやお互い様事業についての協議の場を4回開催した。 【その他】 ・総会は対面で開催した。 ・三役会を3回開催し情報を共有及び各委員への文書による周知を行った。 ・広報部会を2回開催し、「みんな」を年2回会報した。	・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・地域ケア拠点の運営に関する相談・助言 ・地域ケアシステム推進連絡会の開催準備・支援・参加 ・関係機関との連絡調整 ・相談員会議に参加、情報の共有、助言 ・地域ケア会議への参加 ・圏域会議への参加	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
テーマ3 「お互いさま事業」の実施 ~身近な地域の支え合い~	・協力員が18名おり、3件の「ゴミ出し」実績がある。現在は、須和田1丁目及び東菅野2丁目まで1件ずつの計2件の「ゴミ出し」を実施している。 ・住民へのチラシ回覧やアンケート調査の実施、高齢者クラブや地区社協事業等での宣伝と周知の強化をすすめる。	・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業に関する相談・助言を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事ようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。

地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待	市川市社会福祉協議会 ○地域ケア事務局の整備と強化 ○お茶飲み・おしゃべりサロンの推進 ○東菅野方面での活動拠点確保 ○担い手の確保
------------------------------	--------------------------------------------------------------------------

地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待	行政(市川市) ○福祉関係の窓口一本化 ○サロン活動支援(財政、場の確保) ○福祉関係機関のスリム化、わかり易さを求める ○縦割りでなく、課を越えた横のつながりを強化
------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

国分地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【既存のサロンをより参加しやすいようにする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで、コロナ禍でのサロン活動において感染拡大防止を図りながら、1か所の実施であったが、令和5年度は3ヶ所のサロン(ほっとサロン、ハッピーサロン♡いなこし、サロン風の谷)の実施ができた。 <p>【新たな地域活動の場所(会場)を発掘する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、学校との連携により、グラウンドゴルフ教室の開催など新たな事業や活動の場を開拓した。令和5年度は実施できなかったが、令和6年度にむけて複数の学校にて実施できるよう検討中。 <p>【事業に多くの方が参加できるようにする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡巡り健康ウォークやふれあいグラウンドゴルフ大会を開催し、自治会と連携し広報周知することで参加者を募った。コロナ禍で中止されていたふれあいの集いが開催できた。また、その準備などで福祉委員どうしの連携を深められた。 <p>【様々な事業を多くの方に届けるようにする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知をはかるために、地区社協便りを年2回発行をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・他地区での事業・活動について情報共有を行った。 ・コロナ禍で中止されていたふれあいの集いの再開に向けて相談・支援を行い、開催に向けての側面的支援を行った。 ・コロナ禍で中止となっていた3ヶ所のサロン再開に向け相談・支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域ケア拠点の広報、PRに取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協便りを年2回発行しPRに努めた。 <p>【地域ケアシステム推進連絡会の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の連絡会の実施をした。(令和5年9月・令和6年3月) <p>【相談員会議の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、感染拡大防止の観点より実施出来ていなかったが、令和5年度は1回の実施が出来た。(令和6年2月) <p>【地域課題状況把握と対応の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会を定期的に開催し、地域の課題について話し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できない相談・調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・個別ケースについて相談に応じ専門機関へ繋いだ。 ・圏域会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。 ・地域ケア会議に参加し、地域の課題解決に向けて関係機関と共に検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<p>【お互いさま事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協として協議を行い、検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いさま事業について役員会議等において協議検討を行い、モデル地区の状況等の報告を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの 社協への意見・要望・期待</p>				
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの 行政への意見・要望・期待</p>				

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

市川東部地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規サロンが立ち上がった(2サロン) 「詩歌うたう会」 「かのんミュージックベル東部」 ・休止中のサロンは1箇所のみとなり、ほぼコロナ前の水準に戻った <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員の集い(研修会) ・公民館文化祭、防災関係事業(みんなで作ろう防災用品) ・お散歩 史跡めぐり ・ふれあい講演会 ・ふれあい落語会 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンの運営支援を行い、地域での定着を図った。 <p>【地区社協事業】</p> <p>運営のサポートを行い、地域住民の交流の機会を設けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事ようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域ケア拠点の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策基準の緩和により、コロナ前の状況に近づいてきた。 <p>【地域ケアシステム推進連絡会の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間予定どおり、年4回の連絡会の開催ができた。同時に福祉委員会を開催した。 <p>【地域連携の強化⇒地域福祉課題の把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進連絡会で団体の情報交換を行い、地域連携の推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。 	<p>【地域ケア拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員が把握した個別ケースについて、相談員会議にて協議し、関係機関と連携を図った。 <p>【地域ケアシステム推進連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステム推進連絡会、福祉委員会へ参加し、地域の情報を共有した。 <p>【地域福祉課題の把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員会にて、福祉体験を行い、交流を図った。 ・課題のあるエリアについて、住民関係機関と協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次期わかちあいプラン策定作業の過程において事業の方向性のアンケートを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議にて、お互いさま事業の必要性について説明し協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事ようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。

<p>地域福祉活動を進めていくうえで の社協への意見・要望・期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民に対し地区社協の取り組みの更なるPR ○「お互いさまベンチ」の増設 ○市川社協のPRと会員募集の強化
------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>地域福祉活動を進めていくうえで の行政への意見・要望・期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○精華園の有効活用 ○空き家対策 ○ゴミ出しルールの徹底(外国人でもわかるパンフの作成)
------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

曾谷地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
テーマ1 てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	【てるぼサロンの充実】 ・3サロンが活動し、参加者の増加を図ることができた。 ・サロンの周知チラシを作成しイベント時に配布を行った。 ・サロン運営者間の情報交換や交流の場を目的にサロン部会を設置。 【地区社協事業の充実】 ・昨年度に引き続き、家庭で料理をつくりインターネットを利用して投稿する「親子クッキングコンテスト」を開催。学校と連携して審査を行い、料理写真を公民館にてパネル展示を行う。 ・広報部会を開催し、広報「なごみ」を年2回発行。地区社協事業や地域の話題など掲載。地区社協事業の周知を図り、お互いさま事業の協力員の募集、利用者の募集を同時に行う。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・他地区での事業・活動について情報共有を行った。 ・親子クッキングコンテスト等インターネットを使用した事業実施について支援を行う。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ2 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	【地域ケア拠点機能の強化】 ・通常通り開催することができた。 ・相談員会議を毎月開催し、情報を共有し相談員同士の連携を図った。 【地域ケアシステム推進連絡会の充実】 ・各自治会長や民生委員等から地域の状況や課題、取り組みや行事について情報共有の場として2回開催した。 【福祉課題の把握と対応の検討】 ・地域、社協、行政、高齢者サポートセンター、保健センター、関係機関等が連携し、個々の問題(福祉課題)解決に向けて各会議にて情報共有を図った。	・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できない相談・調整を行った。	・お互いさま事業の実施に伴い、相談窓口としての対応について助言を行い強化を図った。 ・個別ケースの対応への助言・支援を行った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・圏域会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。 ・地域ケア会議に参加し、地域の課題解決に向けて関係機関と共に検討を行った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
テーマ3 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	【お互いさま事業の具体化】 ・令和5年3月よりモデル実施。 ・様々な依頼に対して柔軟に対応した。 ・スムーズな運営を行うためコーディネーター会議を毎月開催。 ・曾谷地区お互いさま事業協力員交流会を1回開催。 【令和5年度実績】 コーディネーター：5名、協力員：17名、 利用登録者：18名、活動回数：85名 主な活動内容：買い物代行、電球交換、健康増進支援(卓球相手)、スマホ教室など	・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・毎月開催のコーディネーター会議に参加し情報共有を行い、活動に対しての助言を行った。 ・利用者・協力員募集に関わるチラシ作成等の協力を行う。 ・新規ケースにはコーディネーターと共に訪問を行った。 ・他地区の状況の共有を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ4 若い世代の地域活動参画 ～地域活動を担う人材づくりのため、 少年期・青年期・壮年期・中年期(5～65歳)参画、参加を促す～	【若い世代の地域活動参画】 ・小学生と親を主なターゲットとし、インターネットを活用した「親子クッキングコンテスト」を今年度も開催。	【若い世代の地域活動参画】 ・小・中・高校生対象のボランティア講座を開催した。	・小学生と親を主なターゲットとし、インターネットの活用した応募受付方法の側面的支援を行った。	

地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待	
地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待	

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

大柏地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
テーマ1 てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	【てるぼサロン】 ・4か所でサロンを開催 【地区社協事業】 ・助成事業の実施。 ・地域住民を集めての事業の開催は検討の結果中止	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・関係会議への参加及び連絡調整 ・福祉委員研修会実施のため講師を調整 ・他地区での事業・活動について情報共有を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ2 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	【地域ケア拠点の強化】 ・日誌、相談カードはPCにて管理。報告や情報は市社協とメールで共有 ・地域ケア部会にて拠点強化及び新規事業について検討 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・地域ケア推進連絡会の実施。地区社協及び地域ケアの事業について再確認と地域の情報共有を行った。 【地域福祉課題】 ・福祉委員会（地域ケア推進連絡会）にて情報を共有	・行政と協議の上、コロナ感染状況（2類から5類）に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・関係会議への参加及び連絡調整 ・必要に応じてPC入力方法などを支援。 ・地域ケア部会の連絡調整 ・地区社協及び地域ケアについて説明 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・圏域会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。 ・地域ケア会議に参加し、地域の課題解決に向けて関係機関と共に検討を行った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
テーマ3 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	【お互いさま事業】 ・福祉委員会（地域ケア推進連絡会）にてお互いさま事業について情報共有。	・モデル実施（5地区）対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・各会議にてお互いさま事業について説明。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者があり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ4 地区社協組織の強化 今後様々な福祉事業を主体的に行い、活動の充実を図る上で、人材の確保と平行して地区社協の組織強化が必要である	【地区社協組織の強化】 ・福祉委員会（地域ケア推進連絡会）にて組織について再確認を実施	【地区社協組織の強化】	・各会議にて地区社協及び地域ケアについて説明	
テーマ5 会員加入の促進 会員加入をすすめる、地域福祉活動の応援団を増やしていく	【会員加入の促進】 ・福祉委員会（地域ケア推進連絡会）にて組織について再確認を実施	【会員加入の促進】 ・無理のない範囲で、各自治町会に会員加入の協力を依頼した。	・各会議にて地区社協及び地域ケアについて説明	
地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待				
地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待				

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

宮久保・下貝塚地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【てるぼサロンの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は全サロンが通常開催ができた。 子育てサロンの参加者が少ないことから、開催のチラシや掲示板を活用し参加者増となった。 <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染拡大を考慮し屋外行事(一般参加者あり)である「あいさつ運動」「グラウンドゴルフ大会」を実施。また、関係者を対象に「福祉委員の集い」(研修会)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 他地区での事業・活動について情報共有を行った。 寄り合い処で体操をスタートするにあたり、講師の見本を行うなど相談・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域拠点機能の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は平常開所ができた。 新たに拠点での体操を毎日開催し、沢山の地域住民に地域ケアのPRとなった。 <p>【地域ケアシステム推進連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、福祉委員や関係機関が参加する会議は開催できず。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会・相談員会議等に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 福祉教育・総合的な学習の授業等に地域住民と参加をし、地区内の小学校と連携を図った。 地域ケア拠点で行える新規活動について、相談員会議等で助言を行った。 圏域会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。 地域ケア会議に参加し、地域の課題解決に向けて関係機関と共に検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<p>【お互いさま事業】</p> <p>「お互いさま事業」について話し合いは継続している。他地区での実施状況などを確認し、事業内容などを引き続き検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> お互いさま事業について各会議において協議検討を行い、モデル地区の状況等の報告を行う。 広島市社協が行っている「高齢者見守りネットワーク」について相談員会議等で情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。

地域福祉活動を進めていくうえでの社協への意見・要望・期待
社協会員の増加への積極的な取り組みを願いたい。寄り合い処のPRについての取り組みを願いたい。

地域福祉活動を進めていくうえでの行政への意見・要望・期待
サロン活動などの地域住民との交流事業で市のバスを活用できるよう願いたい。

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

信篤・二俣地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
<p>テーマ1</p> <p>てるぼサロン および 地区社協事業の拡充</p> <p>～“ふれあい”や “つながり”を育むために～</p>	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、一般サロン1ヶ所、子育てサロン2ヶ所を開催。 <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月に二俣小学校にて第1回みつば祭りを開催し、地域の交流機会を作った。 ・令和5年10月からみつば食堂を原木・高谷・田尻・二俣エリア内にある高齢者施設や自治会館、いきいきセンター、東京経営短期大学にて実施した。 ・活動を継続している4団体に助成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。 	<p>【てるぼサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンの運営支援を行い、地域での定着を図った。 <p>【地区社協事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつば祭りを開催するにあたり、立ち上げ・運営のサポートを行い、地域住民の交流の場をつくった。 ・みつば食堂の立ち上げに、施設・学校・関係機関・協力者の調整を行い、毎月2回開催した。また、今後も地域に定着するよう継続支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>テーマ2</p> <p>地域連携の強化</p> <p>～地域における 福祉課題の把握と対応～</p>	<p>【地域拠点の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員が5名となり、ふれあいルームへの来所者を増やすためチラシを作成し、ケアの状況やてるぼサロン(ポッチャ)の活動状況の周知に努めた。 <p>【地域ケアシステム推進連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進連絡会は令和5年4月から6回開催した。子育てサロンや学校地域コーディネーターの方も参加し、地域の課題を共有した。 ・コミュニティカレンダーを活用し、各自治会・団体の予定を共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。 	<p>【地域拠点の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携を図り、地区社協機能の周知活動に努めた。 ・福祉教育で地区内の小学校で学びの機会をつくった。 <p>【地域ケアシステム推進連絡会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステム推進連絡会、福祉委員会へ参加し、地域の情報を共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
<p>テーマ3</p> <p>「お互いさま事業」の実施</p> <p>～身近な地域の支え合い～</p>	<p>【お互いさま事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年10月から実施し、ゴミ出しや網戸の張り替え等の支援を行った。協力員の確保やコーディネーターの役割について課題があったため、規模を縮小することとし、令和6年2月からは「お手伝い事業」として活動を無償化した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。 	<p>【お互いさま事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年10月から実施に向け、内容等について協議を重ね、地域住民・関係機関への周知活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの 市社協への意見・要望・期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協の取り組みについて、住民への周知の必要性。 ・地域ケアシステム推進連絡会で共有した地域課題について、解決に向けた方策について議論をしてほしい。 			
<p>地域福祉活動を進めていくうえでの 行政への意見・要望・期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、社協、自治会、民生・児童委員、各団体等が地域課題において、それぞれの組織の枠組みを越えて活発に意見交換できるように、行政からも提案を投げかけてほしい。 ・自治会が独居高齢者を把握するための方策について、行政との連携強化を図ってほしい。 			

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

行徳地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
テーマ1 てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	【てるぼサロン】 ・6か所のサロンが活動することができた ・次年度の新規サロンに向けて検討した 【地区社協事業】 ・行徳ふれあいまつりでは様々な団体に協力を呼びかけ事業の充実を図った ・福祉団体助成金交付式では、各団体の状況を把握するなど、情報交換の場となった ・年末ふれあい配付を行った	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン再開に向けて会議等の調整を行った。 ・次年度新規サロン開催に向けて支援を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ2 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	【地域ケアシステム推進連絡会】 ・計画どおり年4回開催した(福祉委員全員が対象) ・団体の情報交換を行い、地域連携の推進を図った。 【相談員会議等】 ・計画どおり4回開催した ・各サロンの情報など情報共有を図った 【その他】 ・総会は対面で開催することができた。 ・行徳ふれあいまつり実行委員会を開催した	・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・各会議開催において、議題や資料等の作成支援を行った。 ・関係機関への会議開催について呼びかけ・調整を行った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
テーマ3 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・具体的な取り組みに向けた話し合いには至らなかったが、会議にて他地区の状況等を情報共有した。	・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・推進連絡会にて他地区の状況等の情報提供を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。

地域福祉活動を進めていくうえで の社協への意見・要望・期待	市川市社会福祉協議会 ○社協会費納入協力者を増やす努力○寄付金を集め地域の福祉活動を支援○人材発掘育成○社協の認知度を高めるPR○地域の繋がりを深める関わり○相談内容をどう対処したか結果の報告○高齢者だけでなく他世代の支援
----------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域福祉活動を進めていくうえで の行政への意見・要望・期待	行政(市川市) ○福祉関連予算の増額○社協への資金援助○福祉関係職員の充実○市内の地域ケア拠点のPR○一般の方が入りやすいような拠点の改築○市の補助金制度等を地域にわかりやすく整理○社協や地区社協と連携○高齢化に向け計画的な支援
----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期わかちあいプラン 振り返りシート

(令和5年度)

南行徳地区社会福祉協議会

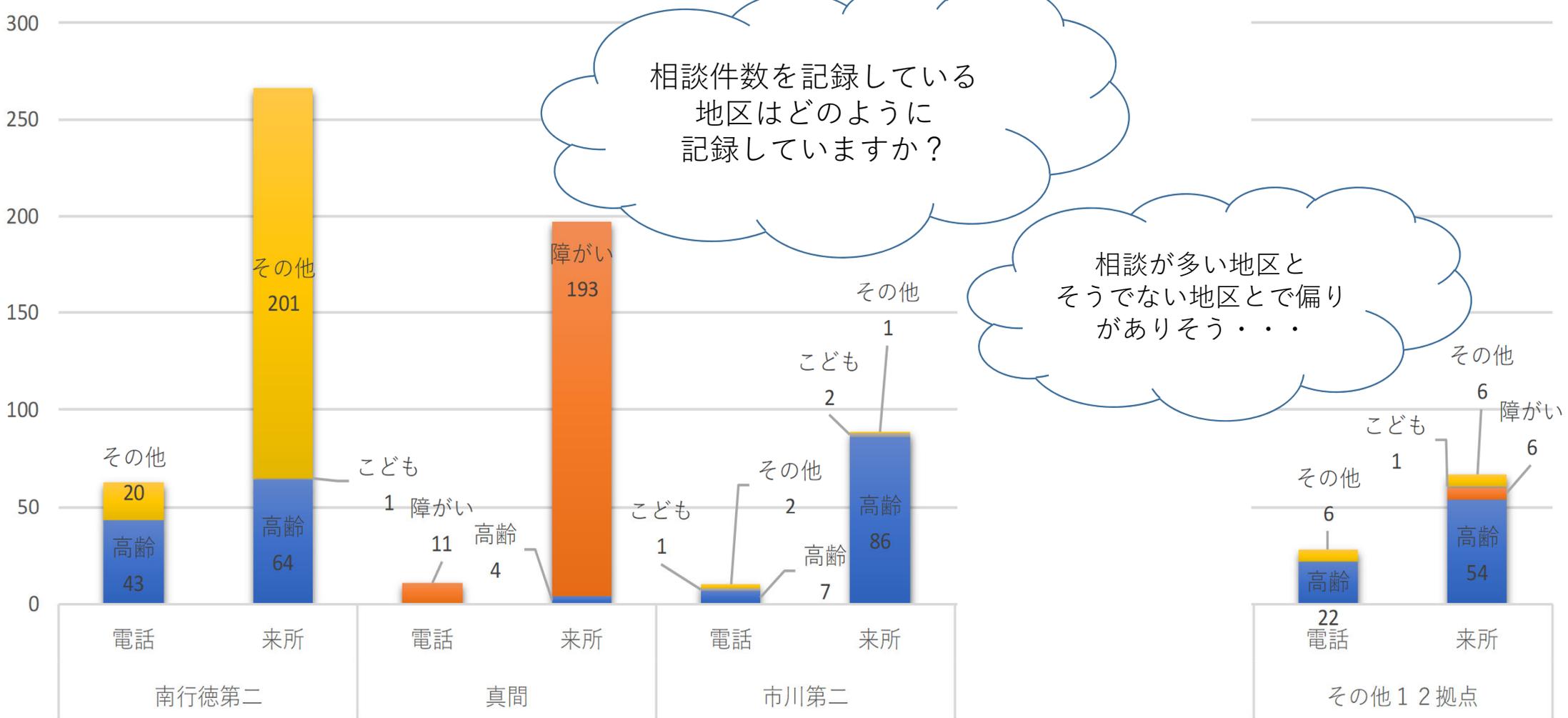
地区別計画テーマ	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	(社協地区CW、広域CW)の取り組み	行政(市川市)の取り組み
テーマ1 てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	【てるぼサロン】 ・21サロン中、19サロンが再開することができた。 ・参加者の増加を図ることができた。 【地区社協事業】 ・「ふれあい給食」は、事業の継続性を図るため、食品の内容や配付期間を再検討し「ふれあい配食」として実施することができた。 ・「ふれあい交流会」は学校の実施希望を調査した上で、5つの小学校と交流することができた。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して助成を行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン再開に向けた調整を行った。 ・ふれあい給食の再開に向けて、内容等について、地域と一緒に協議した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ2 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	【地域ケア拠点機能の強化】 ・各拠点で属性を問わず、地域住民からの様々な相談を受け止め、お互いさま事業や関係機関につなぐことができた。 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・役員のみを対象としていたが、今年度からは福祉委員全員を対象として年11回、連絡会を開催することができた。 【相談員会議】 ・各拠点で受けた相談ケースの対応等について協議し、専門機関との情報交換を行った。 【その他】 ・総会は対面で開催することができた。 ・ブロック会議を開催し、ブロック内の状況や南行徳地区社協の事業等についての情報共有を図った。 (1ブロック)	・行政と協議の上、コロナ感染状況(2類から5類)に応じた拠点利用のガイドラインの見直しを行った。 ・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・各会議に参加・助言を行った。 ・個別ケースの対応支援を行った。 ・地域ケア会議に参加し、地域課題の把握および関係機関の連携に努めた。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・令和5年度に、ボランティアNPOWebと統合し、生活支援・社会参加情報サイト「いちかわ支え合いネット」としてリニューアルした。新サイトを周知し、登録や活用を働きかけた。
テーマ3 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・相談件数、活動回数ともに増加した。 ・ゴミ出し、買い物代行以外の活動についても柔軟に対応した。 ※令和6年3月末現在の実績 協力員 47名 利用登録者 27名 活動回数 589回	・モデル実施(5地区)対象にモデル地区連絡会を開催し、本実施に向けた検証及び方向性について協議した。 ・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・新規ケースの訪問支援を行った。 ・周知活動の支援を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。

地域福祉活動を進めていくうえで の社協への意見・要望・期待	市川市社会福祉協議会 ○福祉委員がスキルアップするための研修会の実施○各関係機関の役割の違いの説明とPR○地域活動時の保険加入と財政面の支援○積極的なPR(地域活動・各拠点・社協会員制度)○地域活動に達成感が得られるような支援○土日における突発時の対応支援○関係機関と連携したきめ細かい支援
----------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域福祉活動を進めていくうえで の行政への意見・要望・期待	行政(市川市) ○申し入れ事項の迅速な回答○身近な存在○地域福祉活動に関する情報提供の充実○地域に出向き地域の意見を汲み上げて良い政策を実行○高齢者がいきいきと活動できるような支援○各担当課の役割とその周知○子ども関係課との連携
----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和5年度 地域ケア拠点における地区別相談件数

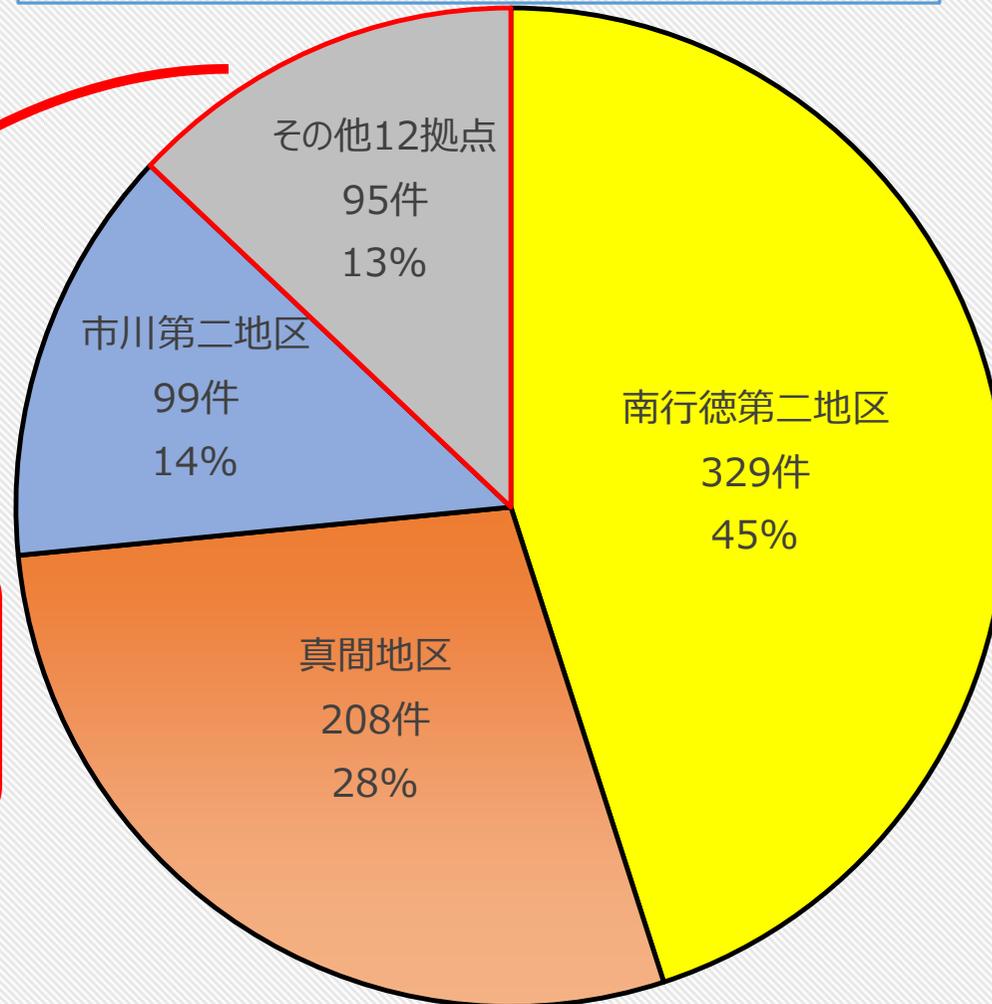
■ 高齢 ■ 障がい ■ こども ■ その他



相談件数を記録している地区はどのように記録していますか？

相談が多い地区とそうでない地区とで偏りがありそう・・・

令和5年度 地域ケア拠点における
地区別相談件数（電話・来所合計件数）



★その他12拠点について

1拠点当たりの平均相談件数：8件

12拠点内での最大相談件数：31件

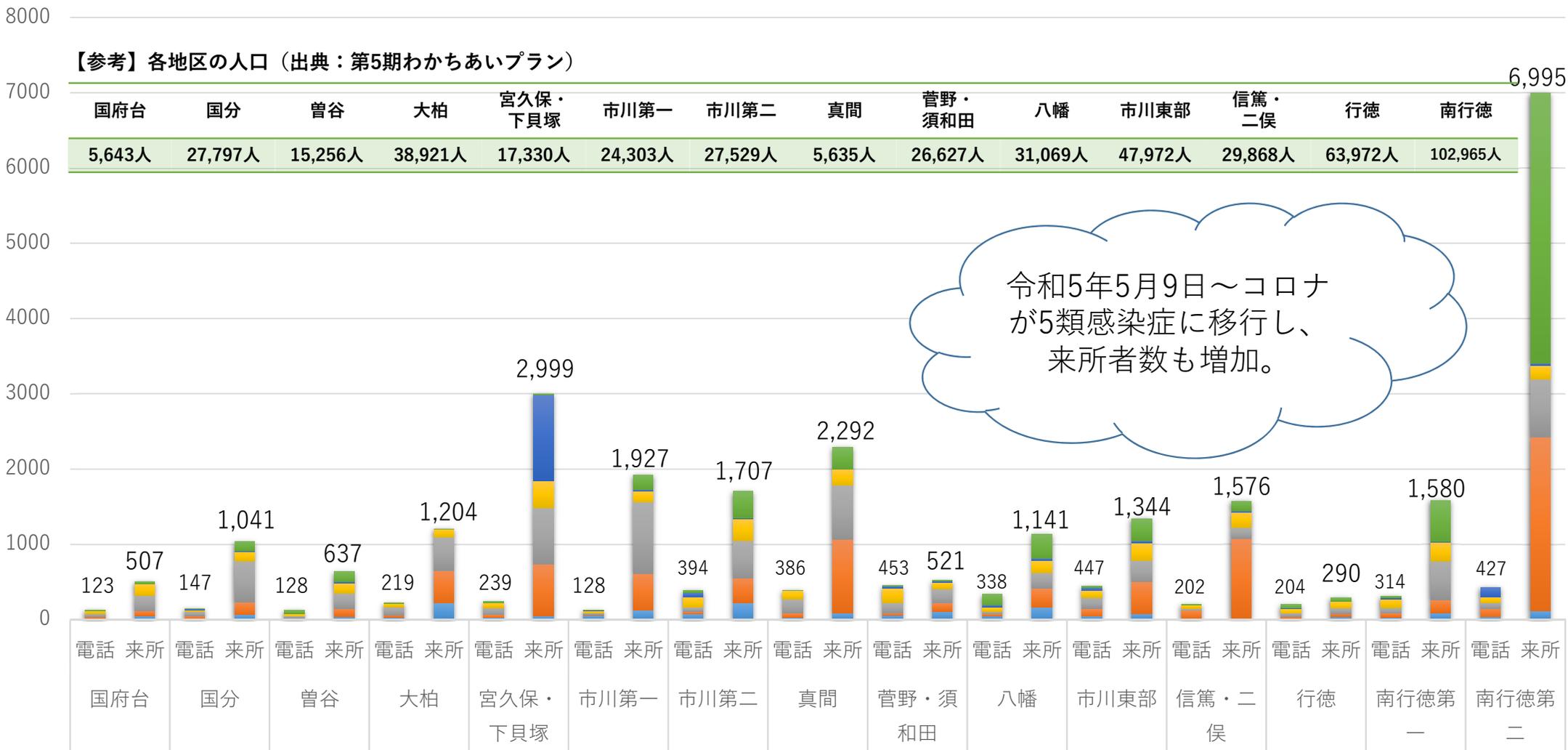
12拠点内での最小相談件数：0件

令和5年度 地域ケア拠点における地区別問い合わせ件数（合計）

■ 車いす ■ 一般 ■ 地区関係者 ■ 関係機関 ■ 地区社協事業 ■ てるぼサロン

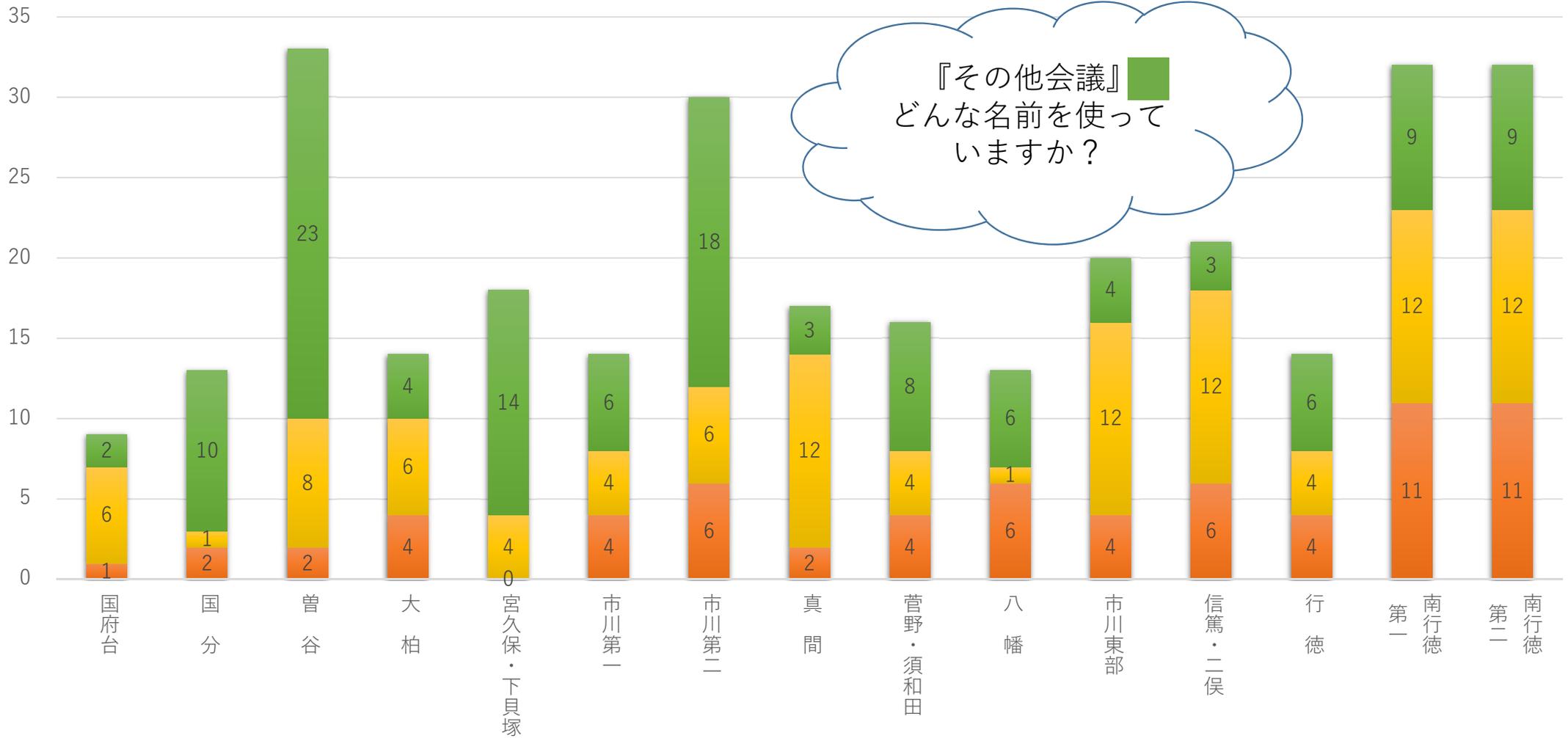
【参考】各地区の人口（出典：第5期わかちあいプラン）

国府台	国分	曾谷	大柏	宮久保・下貝塚	市川第一	市川第二	真間	菅野・須和田	八幡	市川東部	信篤・二俣	行徳	南行徳
5,643人	27,797人	15,256人	38,921人	17,330人	24,303人	27,529人	5,635人	26,627人	31,069人	47,972人	29,868人	63,972人	102,965人



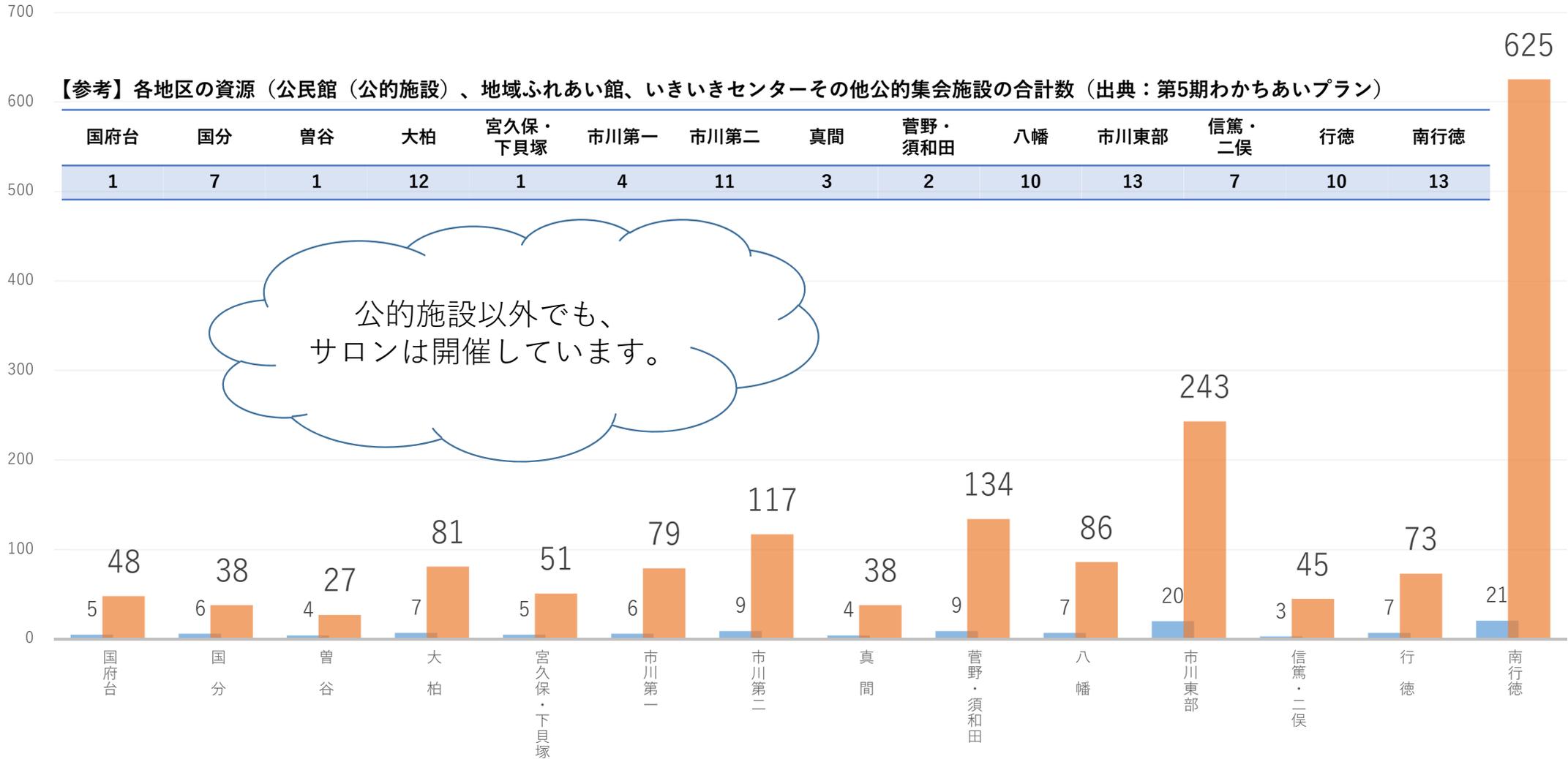
令和5年度 地域ケア拠点における地区別会議開催回数

■ 地域ケア推進連絡会 ■ 相談員会議 ■ その他会議



令和5年度 地区別サロン数とサロン開催回数

■ サロン数（年度末） ■ サロン開催数（年）



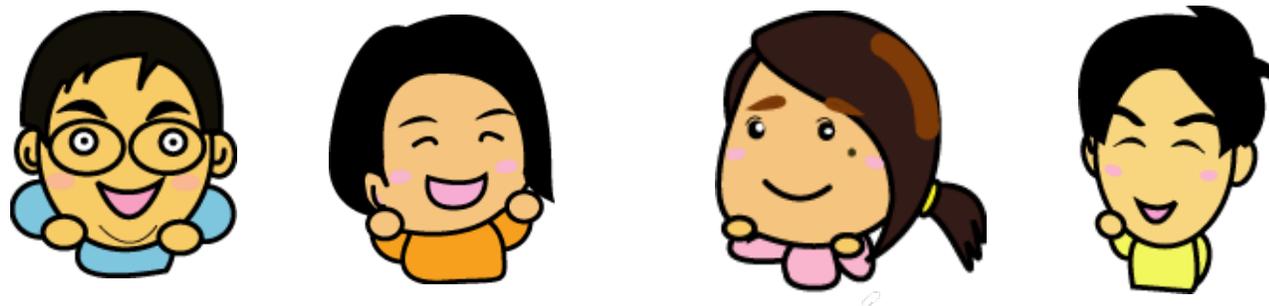
令和6年度 第4期市川市地域福計画推進に係る福祉委員アンケート調査結果

設問	国府台		国分		曾谷		大柏		宮久保・下貝塚		市川第一		市川第二		真間		菅野・須和田		八幡		市川東部		信徳・二俣		行徳		南行徳		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
Q担い手が確保できているか	7人		30人		18人		7人		12人		36人		9人		19人		16人		16人		29人		21人		12人		35人		267人	
①十分確保できている	1人	14%	2人	7%	0人	0%	0人	0%	2人	17%	2人	6%	0人	0%	1人	5%	0人	0%	0人	0%	1人	3%	0人	0%	0人	0%	3人	9%	12人	4%
②どちらかと言えば確保できている	5人	71%	9人	30%	6人	33%	0人	0%	4人	33%	12人	33%	1人	11%	10人	53%	3人	19%	1人	6%	11人	38%	6人	29%	3人	25%	16人	46%	87人	33%
③どちらかと言えば確保できていない	1人	14%	13人	43%	8人	44%	4人	57%	5人	42%	15人	42%	6人	67%	7人	37%	11人	69%	6人	38%	9人	31%	9人	43%	7人	58%	13人	37%	114人	43%
④確保できていない	0人	0%	5人	17%	3人	17%	3人	43%	1人	8%	3人	8%	1人	11%	1人	5%	2人	13%	8人	50%	4人	14%	4人	19%	1人	8%	3人	9%	39人	15%
⑤わからない	0人	0%	1人	3%	1人	6%	0人	0%	0人	0%	4人	11%	1人	11%	0人	0%	0人	0%	1人	6%	4人	14%	2人	10%	1人	8%	0人	0%	15人	6%
Q確保できていない担い手は？	2人		43人		26人		18人		14人		44人		17人		21人		23人		36人		28人		30人		17人		40人		359人	
①地域ケア拠点相談員	0人	0%	5人	12%	3人	12%	2人	11%	0人	0%	5人	11%	2人	12%	6人	29%	1人	4%	4人	11%	1人	4%	2人	7%	6人	35%	6人	15%	43人	12%
②てるぼサロン運営スタッフ	0人	0%	5人	12%	1人	4%	4人	22%	2人	14%	1人	2%	0人	0%	2人	10%	1人	4%	6人	17%	0人	0%	0人	0%	2人	12%	5人	13%	29人	8%
③お互い様事業の担い手	0人	0%	7人	16%	4人	15%	1人	6%	5人	36%	4人	9%	1人	6%	1人	5%	2人	9%	4人	11%	5人	18%	4人	13%	2人	12%	6人	15%	46人	13%
④自治会活動の担い手	1人	50%	10人	23%	9人	35%	4人	22%	3人	21%	15人	34%	6人	35%	6人	29%	9人	39%	9人	25%	11人	39%	12人	40%	1人	6%	10人	25%	106人	30%
⑤民生委員	1人	50%	10人	23%	7人	27%	5人	28%	2人	14%	13人	30%	5人	29%	4人	19%	7人	30%	8人	22%	6人	21%	3人	10%	2人	12%	7人	18%	80人	22%
⑥ボランティア・NPO活動団体の担い手	0人	0%	5人	12%	1人	4%	2人	11%	2人	14%	6人	14%	3人	18%	2人	10%	3人	13%	5人	14%	5人	18%	8人	27%	2人	12%	5人	13%	49人	14%
⑦その他	0人	0%	1人	2%	1人	4%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	1人	3%	2人	12%	1人	3%	6人	2%

Q活動の場は確保できていますか？	7人		28人		17人		7人		11人		36人		7人		20人		15人		15人		27人		22人		10人		35人		257人	
①十分確保できている	3人	43%	8人	29%	0人	0%	0人	0%	2人	18%	1人	3%	1人	14%	1人	5%	1人	7%	1人	7%	2人	7%	3人	14%	0人	0%	10人	29%	33人	13%
②どちらかと言えば確保できている	4人	57%	10人	36%	11人	65%	2人	29%	8人	73%	26人	72%	1人	14%	11人	55%	4人	27%	7人	47%	19人	70%	8人	36%	6人	60%	14人	40%	131人	51%
③どちらかと言えば確保できていない	0人	0%	5人	18%	2人	12%	5人	71%	1人	9%	4人	11%	5人	71%	7人	35%	6人	40%	3人	20%	4人	15%	6人	27%	3人	30%	10人	29%	61人	24%
④確保できていない	0人	0%	1人	4%	2人	12%	0人	0%	0人	0%	1人	3%	0人	0%	1人	5%	3人	20%	3人	20%	0人	0%	3人	14%	0人	0%	0人	0%	14人	5%
⑤わからない	0人	0%	4人	14%	2人	12%	0人	0%	0人	0%	4人	11%	0人	0%	0人	0%	1人	7%	1人	7%	2人	7%	2人	9%	1人	10%	1人	3%	18人	7%
Q不足している活動の場は？	0人		12人		8人		12人		3人		13人		9人		14人		13人		10人		6人		13人		4人		21人		138人	
①地域ケア拠点(増設が必要)	0人	-	1人	8%	0人	0%	2人	17%	0人	0%	1人	8%	0人	0%	2人	14%	1人	8%	1人	10%	1人	17%	1人	8%	1人	25%	2人	10%	13人	9%
②サロン開催の場	0人	-	0人	0%	1人	13%	3人	25%	0人	0%	0人	0%	4人	44%	4人	29%	2人	15%	1人	10%	1人	17%	1人	8%	0人	0%	6人	29%	23人	17%
③地区社協行事開催の場	0人	-	1人	8%	1人	13%	2人	17%	1人	33%	1人	8%	0人	0%	2人	14%	4人	31%	2人	20%	0人	0%	2人	15%	0人	0%	2人	10%	18人	13%
④自治会活動の場	0人	-	4人	33%	4人	50%	3人	25%	1人	33%	5人	38%	0人	0%	2人	14%	3人	23%	4人	40%	2人	33%	4人	31%	1人	25%	5人	24%	38人	28%
⑤民生委員活動の場	0人	-	2人	17%	2人	25%	1人	8%	0人	0%	2人	15%	1人	11%	2人	14%	3人	23%	0人	0%	1人	17%	0人	0%	0人	0%	4人	19%	18人	13%
⑥ボランティア・NPO活動の場	0人	-	4人	33%	0人	0%	1人	8%	1人	33%	4人	31%	3人	33%	2人	14%	0人	0%	2人	20%	1人	17%	4人	31%	1人	25%	2人	10%	25人	18%
⑦その他	0人	-	0人	0%	1人	11%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	0人	0%	1人	8%	1人	25%	0人	0%	3人	2%								

Q個人情報取り扱い手続きを知っていますか？	7人		30人		18人		7人		11人		35人		9人		19人		15人		16人		29人		22人		12人		34人		264人	
①知っている	5人	71%	14人	47%	10人	56%	7人	100%	6人	55%	13人	37%	6人	67%	5人	26%	9人	60%	8人	50%	14人	48%	8人	36%	6人	50%	18人	53%	129人	49%
②一部知っている	2人	29%	15人	50%	6人	33%	0人	0%	5人	45%	20人	57%	1人	11%	14人	74%	6人	40%	7人	44%	12人	41%	11人	50%	6人	50%	13人	38%	118人	45%
③全く知らない	0人	0%	1人	3%	2人	11%	0人	0%	0人	0%	2人	6%	2人	22%	0人	0%	0人	0%	1人	6%	3人	10%	3人	14%	0人	0%	3人	9%	17人	6%

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）による よりそい出張相談について



CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは？

令和5年7月より、市川市が実施する「市川市よりそい支援事業（重層的支援体制整備事業）」に併せ、「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」として、市川市より「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」の業務を受託しました。

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは？

- 公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題や、制度の谷間にいて困窮している人々への対応など
地域で困っている方を支援するために、地域の人材や制度、サービス、地域福祉活動などを組み合わせたり、新しい仕組みづくりのための調整やコーディネートを行う役割を担います
- 高齢者・障がい者・子どもなど対象を限定せず、「地域」を基盤に活動を行います
- 現在 4 名のコミュニティソーシャルワーカーが配置されております

第5期わかちあい プランの中で

第5期

2024年度～2029年度
いちかわ社協「地域福祉活動計画」

わかちあいプラン



いちかわ社協の
マスコットキャラクター
「てるほ」

互助と

寄付のふくし文化を創るお手伝い

社会福祉法人 市川市社会福祉協議会

社会福祉協議会とは・・・

住民のみなさんと共に活動する社会福祉法に基づいた民間で
非営利の地域福祉推進団体（社会福祉法人）です

4. 地域特性を生かした地区社協事業推進

新しい地域課題を発見し、課題解決のための活動につなげていくためには、継続的で専門的な支援が必要です。また、その支援は日常的に行えることが望ましいといえます。地域課題発見からの住民福祉活動支援や、多様な関係機関や行政につなぐ支援に加え、最初の個別相談窓口の役割を担うため、コミュニティソーシャルワーカーの地域ケア拠点の滞在日数を段階的に増やしていくことを目指します。

種 別	進行管理事業
事 業 名	コミュニティソーシャルワーカーによる常駐化
内容 (計画目標)	14地区の地域ケア拠点等でのコミュニティソーシャルワーカーの滞在日数の増加を目指す
6年間の目標	㉔ 2日/月 ㉕ 3日/月 ㉖ 4日/月 ㉗ ↗ ㉘ ↗ ㉙ ↗
備 考	2節-1 コミュニティソーシャルワーカーの増員を併せて検討します。

CSWによる「よりそい出張相談」を 9月より開始



CSWによる「よりそい出張相談」とは？

- 家族が引きこもりがちで心配
- どこに相談したらいいか分からない
- 近所で気になる人がいる
- 地域のために何かしたい

CSWが地域ケアに出向いて、出張相談を開催
(日頃の地域ケア相談員が行っている相談事業に併せて
行います)

“CSW による” よいそい出張相談窓口

暮らしのなかでの困りごと・心配ごと・気になることがありましたら、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)にご相談ください！
「どこに相談したらいいかわからない」「こんなこと相談してもいいのかな…」どんなことでも構いません。解決に向けてさまざまな専門機関と連携をしながら一緒に考えていきます。

【開催日】

9月4日(水)・10月2日(水)
11月6日(水)・12月4日(水)
※毎月第1水曜日

【時間】 10:00~12:00

【場所】 寄り合い処(宮久保1-13-2)



【相談内容例】

- ・地域で何か活動をしたい
- ・子育てや生活のことで悩んでいる
- ・高齢の家族についての相談
- ・近所に気になる方がいる
- ・ひきこもりや不登校の家族のことが心配など



新鮮市場
アタック

寄り合い処

● 宮久保1丁目通り商店街

● ぐすりの
福太郎

● 東京ベイ
信用金庫

【連絡先】

市川市社会福祉協議会
北部地区 CSW 川口
電話：047-320-4002

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) による

よいそい出張相談 始めます！！

地域ケアで出張相談
始めます！

お気軽にお立ち寄りください



○どこに相談したらいいかわからない

○家族が引きこもりがちで心配

○高齢でゴミ出しが大変になった

○地域のために何かしたい

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) は地域の多様な主体や個人の地域福祉活動の支援を行う「ソーシャルワーカー」で地域福祉を推進する専門職です

日時: 10月28日(月) 13:30~15:30

11月25日(月) 13:30~15:30

12月23日(月) 13:30~15:30

地図

よってこ(地域ケア真間) 市川市真間2丁目17-12



このような相談がありました

- 民生委員から、友愛訪問している方のことで相談
- 30代の子ども引きこもりについて、お父さんから相談
- 高齢になっただけでも、まだ働きたい・・・
- 障がいのある方から、運動できる場所を紹介してほしい

「よりそい出張相談」の現状

- 15の地域ケアのうち、12の地域ケアで開催
⇒今年度中に全地区開催を目指しております
- 月1回を目安に開催
⇒今後開催数を増やすことを目指しております
- 複数人相談があった時の対応は課題

地域のみなさまへお願いしたいこと

○周知のご協力をお願いします
(地域の広報誌・掲示板など)

○地域の中で気になる方がいる場合、是非ご案内下さい

○相談内容によっては、
地域の方と一緒に対応させていただきます